

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 【新】ツキノワグマ総合対策市町村支援補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境エネルギー生活部 環境生活政策課 生物多様性係

電話番号：058-272-1111(内2925)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 35,839 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	35,839	27,532	0	0	0	0	0	0	8,307
決定額	35,839	27,532	0	0	0	0	0	0	8,307

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

・県では、農林業や人身被害など、ツキノワグマと人間の軋轢を軽減することを目的とした第二種特定鳥獣管理計画(ツキノワグマ)を策定し、生息状況調査や被害防止対策を実施している。

・全国的に人身被害が多発している中、本県においてもクマの前年度と比較して出没件数が増加し、人身被害も発生していることから、被害防止に向けた対策の強化が求められている。

・令和7年9月1日には、特に人身被害を生じさせる恐れの高い危険鳥獣(ヒグマ・ツキノワグマ・イノシシ)について、これまで銃猟が行えなかった住居集落地を含む、人の日常生活圏での銃猟を可能とする制度(緊急銃猟)の運用が開始され、実施主体である市町村の体制整備を支援する必要がある。

(2) 事業内容

ツキノワグマ対策のため市町村が行う以下の事業に対して補助。

- 専門人材育成等業務
緊急銃猟の実務者育成やクマ出没時の体制構築などを行う市町村に対して補助。
- 出没防止対策事業
誘因物管理や緩衝帯整備など効果的な出没防止対策を実施する市町村に対して補助。
- クマ類捕獲事業
捕獲者への日当や資材購入など捕獲に係る経費について補助。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ツキノワグマの保護管理を推進するために必要な経費であり、国交付金の活用が可能。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	35,839	ツキノワグマ対策を行う市町村への補助金
合計	35,839	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ツキノワグマ第二種特定鳥獣管理計画（R6～R10）

(2) 国・他県の状況

- ・国は、クマ類による被害防止に向けて、クマ類を指定管理鳥獣に指定し、市町村が行うクマの出没防止対策や捕獲事業に対して補助を行っている。
- ・国交付要綱により、市町村への支援は間接補助とし、都道府県に対して、一定の負担を求めている。

(3) 後年度の財政負担

- ・人身被害等を防止するためには、市町村が行う対策を継続して支援する必要があるため、後年度も継続した負担が想定される。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・県民の人身被害等を防止するために必要な経費であるため、県負担は妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 第二種特定鳥獣管理計画に基づく計画的な被害防止対策の実施や市町村の取組を支援することにより、農林業や人身被害など、ツキノワグマと人間の軋轢を軽減する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由
 クマ対策を実施する市町村への支援事業であり、指標の設定に適さないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 5 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 6 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

- ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
3:期待以上の成果あり
2:期待どおりの成果あり
1:期待どおりの成果が得られていない
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)
2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
人身被害防止のためには、ツキノワグマの適正な個体数管理や効果的な被害防止対策を実施する必要があり、継続的に事業を実施する必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】